

滋賀県内初の設置！

土山サービスエリア（上下集約）に

IoT スマートリサイクルボックス「SmaGO」を導入します！

IoT 技術を活用したゴミ回収により生産性の向上や休憩施設の美化向上を図ります

滋賀県甲賀市の新名神高速道路土山サービスエリア（上下集約）（運営：土山ハイウェイサービス株式会社、本社：滋賀県甲賀市土山町、代表取締役社長：植田 重弘）は、滋賀県内初となるスマートリサイクルボックス「SmaGO（スマゴ）」を設置し、2024年12月13日（金）から運用を開始しました。

土山サービスエリアでは、2023年度で約590万人以上のお客さまにご利用いただいております。その結果生じるゴミ（一般ゴミ、ペットボトル、缶、ビン）も増え続けており、対策が求められています。

SmaGOとは、株式会社フォーステックが展開するIoT技術を活用したゴミ箱で、一般ゴミを自動的に約1/5に圧縮する機能を持ち、約600リットルのゴミを収容することが可能で、通信機能を通じてゴミの蓄積状況をクラウド上でリアルタイムに把握できます。電力はソーラー発電によりまかなわれ、環境にやさしいゴミ箱です。

SmaGOの導入により、ゴミ回収を担当するスタッフの負担軽減や回収コストの削減といった効率化と生産性向上が図れるとともに、休憩施設の美化が保たれるなどの効果が期待できます。

今回は上り線（名古屋/東京方面）側に計7台設置し、SmaGO前面には土山サービスエリアのキャラクター「土山たぬき」がゴミ分別のマナー向上を呼び掛けるほか、側面にSDGsの活動を表すアイコン、裏面に甲賀市土山町に広がる茶畑をイメージしたデザインとなっています。

今後SmaGO設置による効果検証を行った上で、下り線側等への設置に向けて検討してまいります。

詳細は、別紙のとおりです。



土山サービスエリアに導入するIoT スマートリサイクルボックス SmaGO（デザインイメージ）

【別紙】

IoT スマートリサイクルボックス「SmaGO（スマゴ）」の導入について

1. 運用開始日 2024年12月13日（金）から
2. 設置場所 新名神高速道路土山サービスエリア 上り線（名古屋/東京方面）側
3. 設置台数 一般ゴミ用3台/ビン用1台/缶用1台/ペットボトル用2台 計7台
4. SmaGOの概要

(1) 機能



一般ゴミ用 …圧縮機能、ソーラー発電、通信機能を装備
ビン・缶・ペットボトル用 …通信機能を装備



一般ごみ
圧縮タイプ 125L/122kg



ビン・缶・ペットボトル
圧縮タイプ 189L/68kg

(2) 特色

● SmaGOの3つの特徴



ソーラーで発電し蓄電

上部のソーラーパネルで発電
→自然にやさしく、電源が不要！



ゴミが溜まると自動で約1/5倍に圧縮

ゴミが一定量溜まると内部センサーが感知し自動で圧縮
→ゴミが溢れない！回収回数の削減が可能に！



通信機能でリアルタイムにゴミの蓄積状況を管理・分析

タブレットからゴミの蓄積/回収情報を管理分析
→効率的なゴミ回収が可能に！

◇お客さまからのお問合せ先
土山ハイウェイサービス株式会社
TEL.0748-66-1660（9：00～20：00）
滋賀県甲賀市土山町南土山字尾巻甲 1122-74

